

漁況情報 No.11 平成 19 年 8 月 22 日発行

岩手県水産技術センター 漁業資源部

Tel : 0193-26-7915、Fax : 0193-26-7920、E-mail : CE0012@pref.iwate.jp

*本報は <http://www.pref.iwate.jp/hp5507/> に掲載しております。

<< トピックス >>

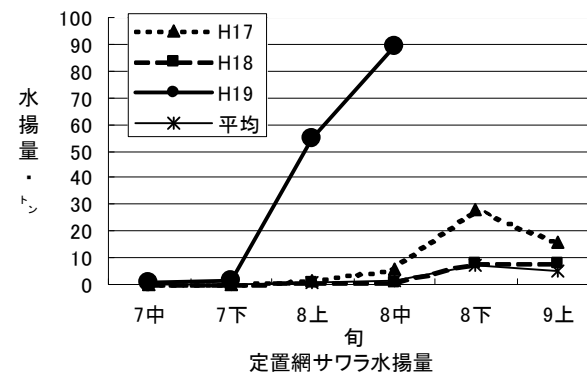
サワラ(定置網)の水揚げは好調です。

ブリ(定置網)、スルメイカ(いか釣り)の水揚げはほぼ過去 5 年平均並です。

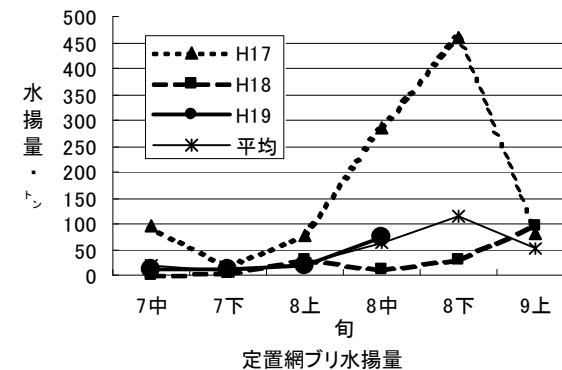
サバ類(定置網)の水揚げは減少しました。

1. 水揚げ状況

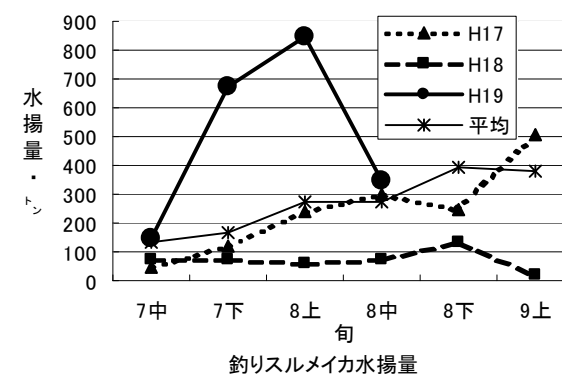
(1) サワラ (定置網) は県全域で水揚げがあり、8 月中旬の水揚げ量は 89 トン (前年同期の 154 倍) でした。また、8 月中旬の過去 5 年間の平均水揚げ量は 1.4 トンで、旬水揚げはその 66 倍でした。年累計は 227 トン (前年同期の 3.8 倍) です。



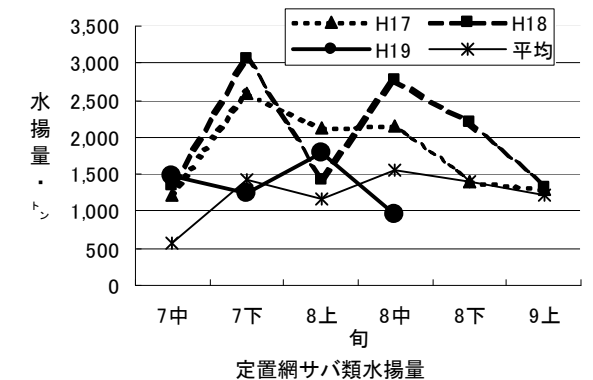
(2) ブリ (定置網) は釜石を中心に水揚げがあり、8 月中旬の水揚げ量は 75 トン (前年同期の 5.6 倍) でした。また、8 月中旬の過去 5 年間の平均水揚げ量は 64 トンで、旬水揚げはその 1.2 倍でした。年累計は 124 トン (前年同期の 2.4 倍) です。



(3) スルメイカ (いか釣り) は久慈、大船渡を中心に水揚げがあり、8 月中旬の水揚げ量は 348 トン (前年同期の 4.7 倍) でした。また、8 月中旬の過去 5 年間の平均水揚げ量は 277 トンで、旬水揚げはその 1.3 倍でした。年累計は 2,179 トン (前年同期の 5.7 倍) です。



(4) サバ類 (定置網) は水揚げがまとまらず、8 月中旬の水揚げ量は 968 トン (前年同期の 35%) でした。また、8 月中旬の過去 5 年間の平均水揚げ量は 1,548 トンで、旬水揚げはその 63% でした。年累計は 10,547 トン (前年同期の 1.2 倍) です。



*水揚げ状況は主要 6 港 (久慈、宮古、山田、大槌、釜石、大船渡) の集計による。

2. 調査結果、その他の情報

◎サバ類精密測定結果

8 月 20 日に水揚げされたサバ類 (釜石魚市場、定置網) の精密測定を行いました。

体長のモードは 32cm であり、6 月下旬、7 月下旬に比べ小型でした (図 1)。本県で水揚げされるサバ類には、マサバとゴマサバがあります。両種は体長と背びれの長さの比で判別できます (判別方法は漁況情報 No.9 参照)。今回測定したサバはマサバが 36%、ゴマサバが 64% であり、マサバの割合が 6 月下旬より低く、7 月下旬よりやや高くなっていました (図 2)。

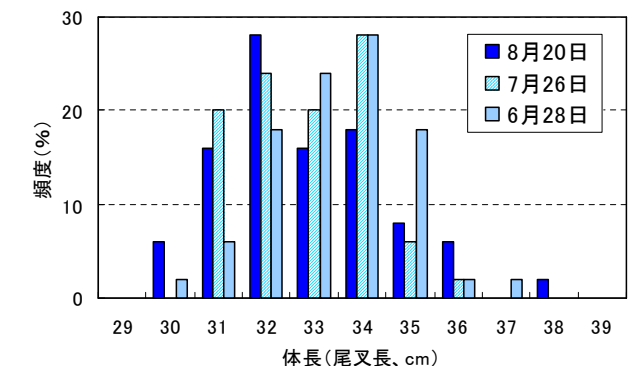


図1 サバ類体長組成

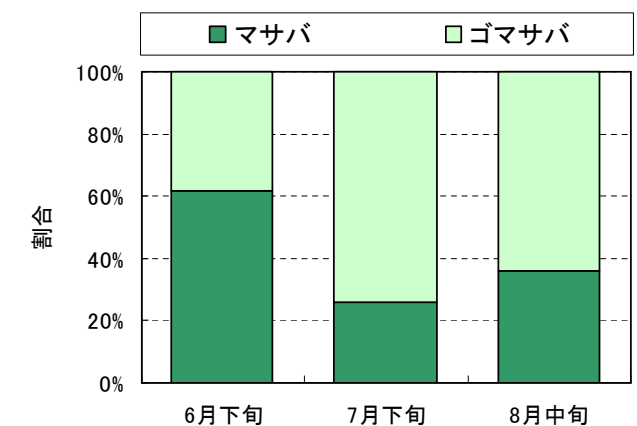


図2 マサバ・ゴマサバ割合の推移

「フィッシャリィ・ネットいわて」 (<http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>) で、日別・市場別・魚種別の水揚げ状況、定地水温などを検索できますので、こちらもご活用下さい。